



防災カフェ ☕

皆さんは、防災情報をどのように入手していますか。

テレビやラジオの天気予報からというのが一般的ですが、あしべつ防災メール39やSNS（LINE、Twitter）から入手する方法もあります。

あしべつ防災メール39やLINEでは、ヒグマの目撃情報や食中毒警報などの防災情報以外のお知らせなども配信していますので、まだ利用されていないかたは、この機会に登録（あしべつ防災メール39の登録には、メールアドレスが必要です。）

・友だち追加をお願いします。登録方法などは、ホームページで確認するか、危機対策係までお問い合わせください。

雨による災害が心配な時は、土砂災害や洪水等の危険度を地図上にリアルタイムで表示して、危険度が高まっている場所を確認することができる気象庁の「キキクル」が便利です。気象庁のホームページから検索して、ハザードマップと併せてご利用ください。

他にも、離れた地域で暮らしている人に避難を

防災に役立つ情報はどこから？

促すための「逃げなきゃコール」というものがあります。これはNHKやヤフー、auなどのアプリを入手して地域を登録、そこから配信される防災情報をもとにして電話で避難を呼びかけるものです。情報の受け手から発信者となり、大切な人の避難を後押ししませんか。

災害時には、憶測に基づく誤った情報により混乱することがあります。

日頃から正しい情報の入手と活用をすることで、

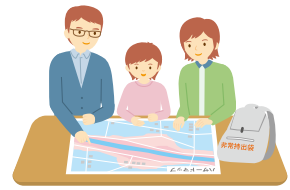
いざという時のために備えるようにしましょう。

〈防災の豆知識〉

10月13日は「国際防災の日（国際防災デー）」

国連が制定した国際デーの一つで、災害に対する備えを充実させ、災害の予防・被害減少を実現することを目的として1989年12月に制定されました。

●詳細 危機対策係 ☎27-7058



秋の火災予防運動を実施

2021年度全国統一防火標語「おうち時間 家族で点検 火の始末」を防火標語に掲げ、10月15日から31日までの17日間、全道一斉に秋の火災予防運動が展開されます。

令和2年中に全国で発生した総出火件数は34,602件、全道では1,765件、芦別市内でも4件の火災が発生しました。

この時期は火災が発生しやすい時期です。暖房機器の使用前に、これらの機器の点検と整備をし、置き場所をチェックするなど一人ひとりが火の元に注意を払うことが必要です。また、普段から家族や地域で火の取り扱いや避難方法などについて話し合い、地域ぐるみで防火の輪を広げ、悲惨な焼死や重要な財産の損失をもたらす火災を防ぎましょう。

※平成23年6月1日から、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。また、電池の寿命はおよそ10年です。定期的に作動確認をしましょう。

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106



ヒグマによる被害防止のために

○複数で行動し、音で存在を知らせる

野山には1人で入らず、複数で行動をする。入山する時は、クマ鈴やラジオ等を持って、会話しながら、人の存在を知らせる。

○ヒグマの出没情報等に気を付ける

薄暗いときの行動は避け、野山に入る前には、新聞やテレビなどで、ヒグマの出没情報等を確認する。

○残飯や生ゴミの処理には注意

ヒグマは、いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没するようになるので、ゴミを野外に放置したり、埋めたりしないようにする。

○フンや足跡、食べた跡を見つけたら、すぐに引き返す

ヒグマのフンや足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返す。

○落ち着いて行動する

万が一、ヒグマに遭遇した場合は、落ち着いて行動し、逃げたり、さわいだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ、襲われる危険があるため、リュックや持ち物の回収はせず、ゆっくりと静かに立ち去る。

●詳細 芦別警察署 ☎22-0110

